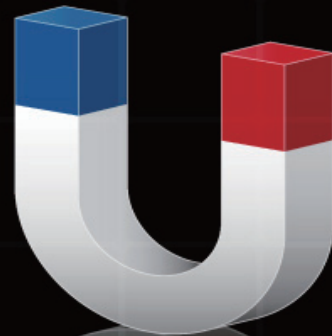


Composite Material,
In the World

ONLY

1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジム系等方性コンパウンド
- ・ネオジム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM レポートには、9月の技術例会と12月のシンポジウムの講演内容を講師の許可を得て再掲載させて頂いた。「世界をリードする軟磁性材料とその応用技術の進展」「進化を続ける磁性材料の現況技術俯瞰」と題してそれぞれの会を成功裡に終了させることができた。大変貴重なデータが詰まっているので是非参考にして頂きたい。

新春公開セミナーでは東京財団の研究員兼プロデューサーの平沼光氏とSIM-Drive 代表取締役社長兼慶応義塾大学教授の清水浩氏にご講演頂いた。資源・環境・エネルギー問題の観点で貴重な内容であり、芳賀会長にその要約を作成して頂いた。参考になれば幸いである。

後期の寺子屋 BM 塾では「軟質(ソフト)の各論詳講」と題して3講行った。参加者はやや少な目であったが、活発な質問が飛び交い大変有意義な会であった。2013 年前期は「磁石・磁性材料の解析技術を理解しよう!」と題して磁気測定技術、組織観察の基礎、磁界解析技術の基礎を予定している。多くの参加者を期待している。

統計データとして今回から希土類金属の国別輸入を取り上げてみた。貿易統計ではセリウム化合物、酸化イットリウム、酸化ランタンについては明確に分離されているが、主に磁石に使われる Nd や Dy といった元素別のデータは分離されておらず入手困難である。今回掲載したデータは、明確に分離されている元素以外の希土類金属、イットリウム又はスカンジウムの無機または有機の化合物及びこれらの金属の混合物の無機または有機の化合物であり、大括りになるが、参考になれば幸いである。

12月のシンポジウムで加藤教授に「新しいレアアース資源としての太平洋の深海底泥」と題してご講演頂いたが、その後の経過として、1月に海洋研究開発機構が深海調査研究船「かいらい」を使って調査した結果が3月21日の日経新聞夕刊に記事として掲載された。水深5000mを超える海底から採取した泥を分析した結果、レアアースが最大6600ppmの濃度で含まれていることがわかった。Dyは中国鉱山の約32倍の濃度に上り、商用化の可能性がより高まったと報道している。採算コストが課題として残されてはいるようだが、積極的に技術開発を進めて欲しい。

機関紙編集委員長

大森 賢次